

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	にこにこハート		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ～ 令和7年 11月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日 ～ 令和7年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別に柔軟な対応が可能である。	保護者との連携が取りやすく個々に合った支援が出来ます。	個々の得意不得意を職員間で共有理解し苦手な事へのチャレンジを支援し、成功体験（達成感）を得られるようにしています。
2	ランチ調理、おやつ作り、日々のおやつに手作りの物を一品入れるなど、食育プログラムに力を入れています。	毎月メニューを変えてランチ、おやつ調理を行っています。職員と一緒に行うことで安全に包丁を使う、焼くなどの工程も行えています。	色々なことに挑戦出来るように、食材が偏らないようにしていきます。児童によってどのメニューをどのくらい食べられたかなどを記録し次回に活かしていきます。
3	毎月イベントを行っています。	調理イベントを月2回、アロマ教室は外部の先生をお呼びして月2回、外出イベントを行っています。	イベント企画など来所予定の児童に合わせて企画を考えています。振り返りを行い次回に活かしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者、兄弟同士が交流する機会がない。	日程の調整が難しく開催には至っていません。	今後、ご家庭からの要望がありましたら検討いたします。
2	毎日行っているミニイベントが盛り上がり欠けている。	積極的に活動参加出来る児童、できない児童の差が生じてしまっているのが現状です。	より多くの児童にもっと興味を持ってもらえるような活動を考えていきます。
3	一部の相談員さんとは連携しているが、他事業所、かかりつけ医との連携があまり図れていない。	保護者を通して情報共有は行っているが、直接的には連携が取れていません。	必要がありましたら適宜連携を図ってまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 にこにこハート(児発)

公表日 令和 8 年 1月 15日

利用児童数

14名配布

回収数

10名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8			2	何人に対して何人いるのか分からない	入所時の重要事項説明書に記載してありますが、説明を怠らないように徹底いたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1		1	家にはない玩具や工作をすることで創意工夫して楽しんでいます	引き続き、児童が心地良く過ごせるように努力してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9			1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	2		1	イベントや訓練など刺激的に取り組んでいます。	これからも児童が毎回来しめるようなプログラムが用意できるように努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5		3	2		公園などで他施設や近隣のお友達がいた場合、道具など一緒に使用する、ごっこ遊びを一緒にすることもあります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	3	1	あると思う	今後検討していきます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	10				毎回送迎の際に会話や報告をして頂いて安心しています。	引き続き、保護者様との情報共有を大切にしていきたいと考えております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9		1			半年に一度個別面談を行っています。 是非ご参加ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	3	2	あると思う。 事業所に行く機会がありませんので、見学会などあればと思います。（普段は送迎して頂いて助かっています。）	今後検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8		1	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1		1		事故や怪我、急病等があった際には迅速に対応しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				職員さんを信頼しています。	これからも信頼にお応えできるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				幼稚園よりも主体性を持って行動していると思います。	これからも児童に楽しんで活動に参加してもらえるように、努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
にこにこハート（児発）		令和 8 年 1 月 15 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		整理整頓を心掛け、緊急時必要な物はS字フックなど活用し、児童の手の届かないよう工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			活動内容によっては、もう少し手厚い配置が出来るようにしていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子供に分かりやすく赤いビニールテープで入ってはいけない場所を示している。	理解の難しい児童もいて徹底が難しいが、都度伝えていくようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日掃除をし、清潔で心地良い環境を整えている。必要に応じてすぐに玩具を出せるようになっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別の対応を行える配慮している。落ち着けるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月のスタッフ会議で共有し、改善に繋げている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月のスタッフ会議で共有し、改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月のスタッフ会議で共有し、改善に繋げている。その際意見交換も行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		全体会議で毎回研修の実施を行っている。会議不参加の職員へも資料を配布し共有ができるように努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPに掲載公表し、年一回以上の見直しも行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		月に一回以上、支援計画の作成にあたり、職員同士で情報の共有をし、目標や課題を話し合う場を設けている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		月に一回以上、支援計画の作成にあたり、職員同士で情報の共有をし、目標や課題を話し合う場を設けている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		月に一回以上、支援計画の作成にあたり、職員同士で情報の共有をし、目標や課題を話し合う場を設けている。	個々の得意不得意を職員間で共有理解し苦手な事へのチャレンジを支援し、成功体験（達成感）を得られるようにしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察や保護者からの聞き取りは小まめに実施し、情報共有することで体調面や情緒面でも小さな変化に気づけるようにしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って、本人、家族、移行、地域支援の観点を踏まえながら、必要な支援項目と具体的な内容を設定しています。	支援内容のさらなる質の向上を目指し、精度を高めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			一部の職員でプログラムを考えてしまうことが多い傾向にあるので、全体から意見を出せるようにする。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		集団の中で難しい児童がいる時には、個別の活動に切り替えるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援前にミーティングは出来ていないが、送迎チームからの引継ぎを行うと共に、家庭からの連絡帳に目を通してしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			支援後に振り返りは出来ていないが、必要な情報共有は行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回以上のペースでモニタリングを行い、必要に応じて個別支援計画書の見直しを都度行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援に携わっている職員と話し合いを行い、よりよい計画内容になるように努めている。	関係機関との会議の場を設けられるようになるとよりよい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて他機関との情報交換を行っている。	一部の施設とは連携しているが全施設と連携できてはいない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて他機関との情報交換を行っている。	一部の施設とは連携しているが全施設と連携できてはいない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		区や都の相談員の方とは情報共有を行っている。就学相談の利用をすすめている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		児童発達支援センターとの直接的な連携は取れていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	近隣の公園などで近隣の保育園等の子供たちと交流することがある。	通所している事を隠しているご家庭もある為、今後も機会を設ける予定はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に一日の様子や活動を保護者にお伝えし、保護者からもご家庭の様子聞き取りを行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			研修等は行っていないが、要望があれば検討していきたい。地域の講習など、情報提供は行っている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学や契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		更新の際に書面、電話、対面にて面談を行い、ご家族の意向確認を行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		面談時や日々の聞き取りに加えて、保護者へ個別支援計画書交付も行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		年2回以上の面談以外に、電話や対面、LINEを使って都度、相談に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		日程の調整が難しく開催には至っていないです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの相談や要望には可能な限り対応を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月新聞を発行し配布。HPへの掲載で行事や活動をお知らせしている。子供の体調やお休み連絡はLINEでやり取りしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		想定した訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用毎に確認している。連絡帳や服薬確認表を用いている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	毎回の昼食提供はしていない。調理イベントの際には具材や調味料の内容確認を行い食物アレルギーがある児童には事前に保護者に参加の有無を確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		避難訓練同様に安全計画に基づいて訓練の実施、必要に応じて内容の見直しを行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		年1回以上実施。契約時と個別支援計画書交付の際に安全計画について再度周知を行っている。	交付の際に周知徹底していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		その日のうちに報告書にまとめ、全職員へ情報共有を行っている。	改善できる点はすぐに改善できるように努めている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回以上のチェックシート活用、スタッフ会議にてフィードバックの実施をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		自傷行為がある児童に関して身体拘束マニュアルに基づき、保護者に事前に説明し、了解を得て支援計画に記載している。	